

こしに取り組む亀山市の市民団体に商品化を持ちかけた。

濃厚で甘い味噌だれと麺が4食分入って864円と、一般的な焼きそばより割高。「認知度はまだ低いものの、「B-1グランプリ」で上位に入れば販売増が見込める」(同社)とブーム到

久保田麺業「亀山みそ焼」

人気に着目、市

名度はない。ソースもこれまででは地元スーパーを中心に販売してきた。地元からブームを盛り上げるため、今春から市内にある大手コンビニエンスストアでソースの販売を開始。市内を通る鉄道沿線からも黒焼きそばを食べに来てもらうため、車内広告も出した。

ポールスタア「東村山」

コンビニ販売



常設食堂も開業した(東京都千代田区の「B-1グランプリ食堂」)

日本産米、米豪でも

ワッカ 海外販売拠点10カ所に

海外で日本産米を販売するWakka Japan(ワッカ・ジャパン、札幌市、出口友洋代表取締役)は2020年までに海外拠点を10カ所に増やす。現在はアジア3都市に貯蔵・精米拠点を設けているが、今秋から北米などにも展開する。和食ブームを追い風に、日本の高品質なコメの需要を取り込む。ワッカは日本から玄米を輸出。現地のグループ

企業が精米し、鮮度が落ちないうちに日本料理店や消費者に直接配送している。香港、シンガポール、台湾に拠点があり、14年産米の輸出量は計568トと、国産米の総輸出量の13%を占める。北米ではホノルルやロサンゼルスに拠点を設ける。現地の寿司店や日本料理店で日本産米のニーズが高まっていることに対応する。このほかオーストラリアのシドニーな

海道の農家やJAから調達する。出荷から小売りまでを一貫して手掛けて中間マージンを省略。加えて円安の影響もあり、現地産米に近い価格で供給できるといふ。拠点拡大により、20年に2000ト強の輸出をめざす。

会計ソフト、営業員3倍

freee マイナンバー控え

クラウド会計ソフトのfreee(東京・品川、佐々木大輔社長)は2016年半ばまでに営業員を現在の3倍の100人規模に増やす。来年1

月に運用が始まる社会保険と税の共通番号(マイナンバー)制度の関連ビジネスの需要が見込まれるため、営業体制を拡充し個人事業主や中小企業

の開拓を加速する。このほど米国のベンチャーキャピタルのDCMやリクルートホールディングスなどを引受先とする第三者割当増資で3億

円を調達した。技術職の採用も増やし、全社の人員も現在の2倍の200人超にする計画。

同社の会計ソフトを利用する事業者数は個人事業主を中心に38万件、給与計算ソフトは6万件に達している。マイナンバーの管理サービスも10月

の開始を加速する。このほど米国のベンチャーキャピタルのDCMやリクルートホールディングスなどを引受先とする第三者割当増資で3億

円を調達した。技術職の採用も増やし、全社の人員も現在の2倍の200人超にする計画。

同社の会計ソフトを利用する事業者数は個人事業主を中心に38万件、給与計算ソフトは6万件に達している。マイナンバーの管理サービスも10月

ユニクエスト

望すれば返却する。「終活」ブームで生前に自身の墓の備えをする人が増えていることに着目した。サービスには埋葬料、施設使用料、永代供養料のほか、寺院の過去台帳への戒名などの記載料も含む。各寺院は遺族から預かった遺骨を2年間安置した

納骨先、全国60寺院から

後、共同墓地に埋葬する。安置期間を設けることで「遺族の気が変わったり、永代供養に納得しない親戚が現れたりした際にも対応できるようにした(同社)」。一般的な永代供養は30万50万円程度とされる。同社はネットや電話で受注することで、運営コストなどを抑え低料金で提供できるようにした。月100件程度の受注をめざす。

5.5万円で永代供養

インターネットで葬祭プラン「小さなお葬式」を販売するユニクエスト・オンライン(大阪市、田中智也社長)はこのほど、5万5千円で永代供養ができるサービスを開始した。全国約60の寺院から納骨先を選べる。遺骨は2年間個別に安置し、期間内に遺族が希

望すれば返却する。「終活」ブームで生前に自身の墓の備えをする人が増えていることに着目した。サービスには埋葬料、施設使用料、永代供養料のほか、寺院の過去台帳への戒名などの記載料も含む。各寺院は遺族から預かった遺骨を2年間安置した

後、共同墓地に埋葬する。安置期間を設けることで「遺族の気が変わったり、永代供養に納得しない親戚が現れたりした際にも対応できるようにした(同社)」。一般的な永代供養は30万50万円程度とされる。同社はネットや電話で受注することで、運営コストなどを抑え低料金で提供できるようにした。月100件程度の受注をめざす。

かーなど関係者はその情報発信力に期待を寄せられている。一気に知名度を高められる可能性がある。当地グルメは、大手に比べ資金力などに乏しい中小食品メーカーには魅力的。

例え、昨年グランプリを取った青森県十和田市の「十和田バラ焼き」。しょうゆ・味噌・焼きた富士宮やきそばで、焼きそばソースなどの関連商品を扱うマルモ食品工業(静岡県富士宮市)は「ブームが終わり売り上

ケースが出始めている。2006年の第1回大会でグランプリを獲得した富士宮やきそばで、焼きそばソースなどの関連商品を扱うマルモ食品工業(静岡県富士宮市)は「ブームが終わり売り上

中小はもともとメーカーが潤沢なわけでは無い。ご当地グルメで注目を集めた後の成長をどう描くか。既存の商品の販路も広げるなど長い目線での戦略が求められる。

世界へ

ホルトは駅の可動式ホーム柵にも使われている

車や自動ナールに「ユレ」を知らぬ技術を生産した。価格は15億円。

向けが占める。最近では駅の高品質を実現し、海外勢と同じ土俵に立たない(安藤社長)と、模索している。東南アジア諸国連合(ASEAN)では、18年まで

2012年にはおよそ3

軟らかい樹脂フィルムを

用、新式可動式ホーム柵